

農場通信 2025年 9月号

2025/8/25

トヨタネ研究農場の「今」をお知らせ！ 圃場の写真と、環境データ・管理方法も合わせてご覧ください！

① 圃場 ハウス ② 試験内容 ③ 開始日 ④ 終了予定 ① 第4 A ② 大玉トマト短期品種比較試験(2作) ③ 2025/7/28 ④ 2025/12月末

<p>品目</p> <p>■ 栽培中</p> <p>■ 栽培準備中</p> <p>■ 今月最終</p>	圃場写真①	圃場写真②
<p>直近の環境データ・管理方法(晴天日)</p> <p>※特に表記のないものは設定と実測の温度を示しています</p>		

大玉トマト 年内作		
<p>7月4日に播種、28日に定植を行いました。大玉トマトの品種比較栽培やホルモン処理試験等を行っているハウスです。開花と着果が進み、現在は2段目のホルモン処理を行っています。気温が高く乾燥しているため、灌水量は随時増やして栽培しています。</p>		

① 第4 B ② ミニトマト品種比較試験 ③ 2025/7/28 ④ 2025/6月末

ミニトマト		
<p>7月4日に播種、7/28定植。今作も20品種の比較試験を行います。昨年度に引き続き、高温、短節間、食味、玉肥大の4テーマでの栽培となります。</p> <p>給液EC1.3、給液量1000ml/株で管理。全体的に開花と着果が始まっています。早い品種では3段目が開花中です。週1回消毒を行いコナジラミ等の対策を徹底しています。草勢は全体的に安定している印象。</p>		

① 第4 C ② 大玉トマト品種比較試験 ③ 2025/8/18 ④ 2026/6月

大玉トマト 抑制長期作 (年1作)		
<p>7月28日播種、8月19日定植。今年度も20品種の栽培を行っています。「耐裂果性」・「短節間」・「バランス型」・「玉肥大」の4テーマで栽培中。</p> <p>定植前にコナジラミ対策のペリマークと、WAKUFUL(グルタチオンBS資材)を散布。ココバッグ定植後の活着はスムーズなものとなりました。また、定植と同時にタバコカスミカメを温存したクレオメを導入しています。</p>		

① 第4 D ② バラエティ品種比較試験 ③ 2025/8/19 ④ 2025/6月末

バラエティ トマト		
<p>今作もバラエティトマトの品種比較の試験を行います。7月28日に播種 8月19日に定植を行いました。赤色ブルームやカラフル丸等、4つの系統に分かれて試験を行います。品種数は22品種でアイコやハーモナリー、キャロルポボなど幅広く栽培をしています。</p>		

① 第4 E ② イチゴ栽培試験 ③ ④

イチゴ	準備中	
<p>次作準備中 9月末ごろ定植予定です。</p>		

① 第4 J ② ココバッグ養液栽培試験
品種比較試験 ③ 2025/4/21 ④ 2025/9月末

キュウリ		
<p>今作はココバッグを使った養液栽培に適する品種比較試験ということで、種木品種8種類・台木品種4種類を栽培します。年2作型とし、1作目は10月定植、4月15日で終了。2作目を4月21日に定植し、9月末まで栽培予定。</p> <p>2作目の収量が8月末時点で多い品種で反換算20トンに達し、1作目と合わせると年間で50トンは超えました。残り1か月でどこまで収量を伸ばせるか。草勢は悪くありませんが、相変わらず雌花の着生と品質がイマイチ。夜冷で夜温を下げてみたものの、多少マシくらいで大きく改善はしていません。品種による差も大きいので夏に適さない品種はこの作型は厳しいと思われます。</p>		

① 第4 I ② 高糖度ミニトマト品種比較試験 ③ 2025/8/20頃 ④ 2026/7月頃

高糖度 ミニトマト		
<p>今作も、ミニトマトの高糖度栽培での品種比較試験と台木の比較試験を行います。培地はココバッグ、肥料はオリジナルの高糖度用単肥処方を使用します。品種は小鈴クイーン・TY千果を含む6品種、台木はアーノルドと国内外の強勢台木を6品種試験します。</p> <p>8/15に予定より早く試験的に128穴で定植しました。ハウス内は暑いですが初期の活着は問題無く、今後草勢が付きすぎないように注意して管理していきます。定植前に入れておいたカスミカメが思った以上に増えずぎて、定植後の苗を少しカジャられてしまいました。</p>		



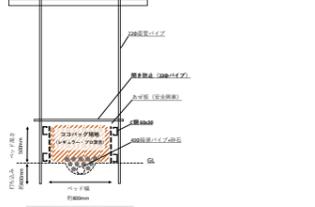
豊かさ実る、タネを。
トヨタネ株式会社

研究農場 TEL (0532) 41-2007
愛知県豊橋市東高田町371 FAX(0532)41-2015
URL <https://www.toyotane.co.jp/>
E-mail info@toyotane.co.jp

① 第6 ② キャベツ品種比較試験 ③ 2025/8月~ ④ 2025/11月~

キャベツ		
冬系キャベツ 5作型 ①7/18播種 10月収穫 ②7/末頃播種 11月収穫 ③8月初旬播種 12-1月収穫 ④8月中旬播種 2-3月収穫 ⑤8月下旬播種 3-4月収穫 春系キャベツ 1~2作型計画 8/中下旬播種予定	①作型を8/14日、②作型を8/22日に定植しました。定植後は早朝にしっかりと灌水を行い、活着を促します。灌水にはスミスソイの露地ワイドを使っています。 今後も後半作の育苗が続きます。高温期の発芽と、定植後の活着・初期生育の良し悪しを注目していきます。 併せて高温期に有効なBS資材や保水材のEFポリマーなども使用していく予定です。	

① 第3 M ② アスパラガス柵板式高畝栽培試験 ③ 2023/6/2定植④ 周年

アスパラガス		
		アスパラの「柵板式高畝栽培」の実証試験。2023年初夏に定植、2024年春から収穫開始。柵板で隔離したベッドにココバッグの中身を入れて養液栽培をします。品種も新しいタイプ3種類を含む、計6種類栽培しています。 収穫2年目となる今では、全体的に前年よりも大幅に増収となっていて、春芽収穫後の収量の落ち込みも見られない状況です。最も暑い時期となりますので屋根に遮熱塗料を塗布しました。灌水は1日8~10回程度かけて少量多頻度灌水とし、培地の水分が不足ないようにしています。

① 第8 ② 『持続可能な施設園芸』実証試験 ③ 2025/8/22 ④ 2026/7月末

大玉トマト		
	播種日:7月21日 定植日:8月22日 穂木はかれんを使用し、台木はアーノルドやカイゼル等、強勢品種を5種類栽培しています。前作では生育初期のコナジラミが多く発生したため、今作はLED試験や捕虫テープ試験を行い、徹底的に防除していきます。タバコカスミカメも前作より、多い数放飼しています。高温状況が続いているので、灌水量や頻度等、注意しながら行っています。	

① 第2 ② ブロッコリー ③ 2025/08~ ④ 2025/夏

ブロッコリー	準備中	
	9月5日ごろより、定植を行っていきます	現在栽培準備中… 作型や品種数など、来月号にて掲載します もうしばらく、お待ちください。

① 施設栽培 ② バコトツプ放飼防除試験

バコトツプ		
	今作でも、昨年度に引き続き、タバコカスミカメ(商品名:バコトツプ)の放飼を行っております。トマトハウス、キュウリハウスともに、コナジラミ数抑制には効果が出ている状態です。トマトでは、コナジラミをほとんど見かけない状態です。 なお、トマトについては、これから1か月ほど、植物体が小さく、茎などにリング状の食痕(=食害)が出やすい時期となります。外気温も30℃越えの日々が続く、ハウス内も暑く、バコトツプの個体数増加には好条件の日々が続くので、気を付けて管理を行っていきます。	

① 第1 Q ② コマツ有機質肥料試験 ③ ④

コマツナ	準備中	圃場写真②
		次作準備中 9月上旬播種予定



豊かさ実る、タネを。
トヨタネ株式会社

研究農場 TEL (0532) 41-2007
 愛知県豊橋市東高田町371 FAX(0532)41-2015
 URL <https://www.toyotane.co.jp/>
 E-mail info@toyotane.co.jp